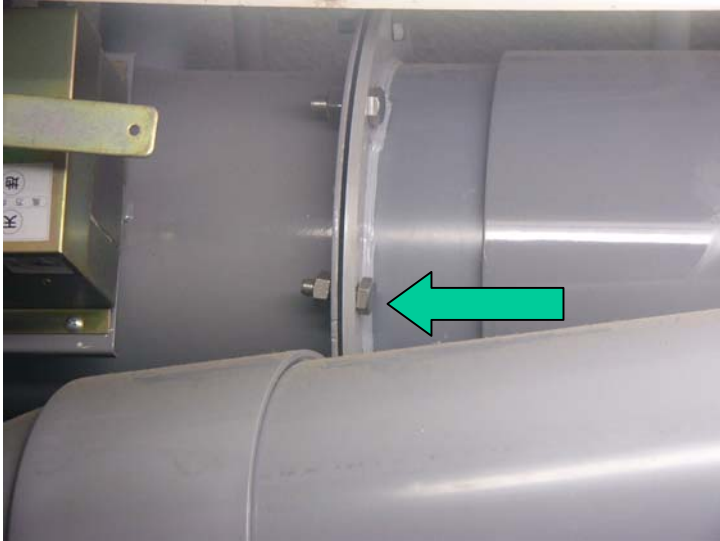
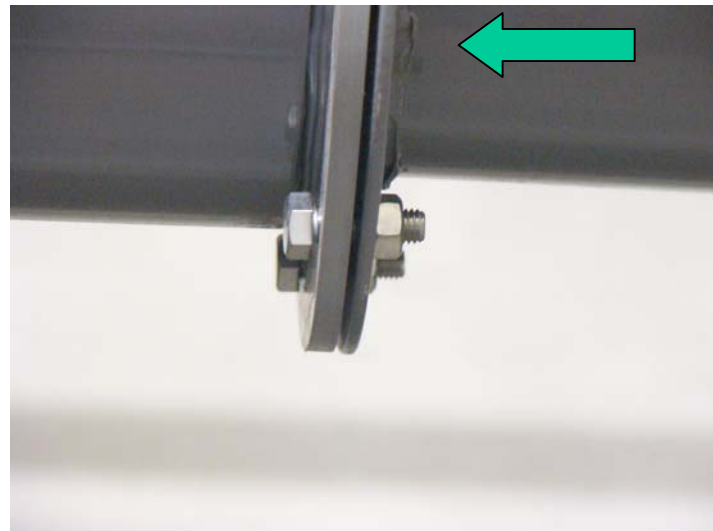


# ドラフトチャンバー型フード式局所排気装置の不具合例

フード上主ダクトのフランジの締め付けボルトに緩みがあった  
(この不具合は多くの局排で見られた)



フード上主ダクトに亀裂が見られた(スモークテストの煙を吸い込んだ)



フード上主ダクトに腐食が見られた(多くの局排で見られた)

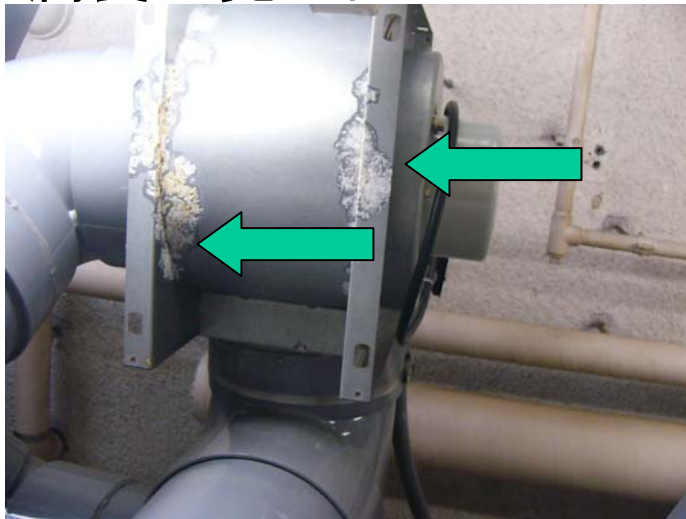


この部分はダクトに穴が開いていると思われる

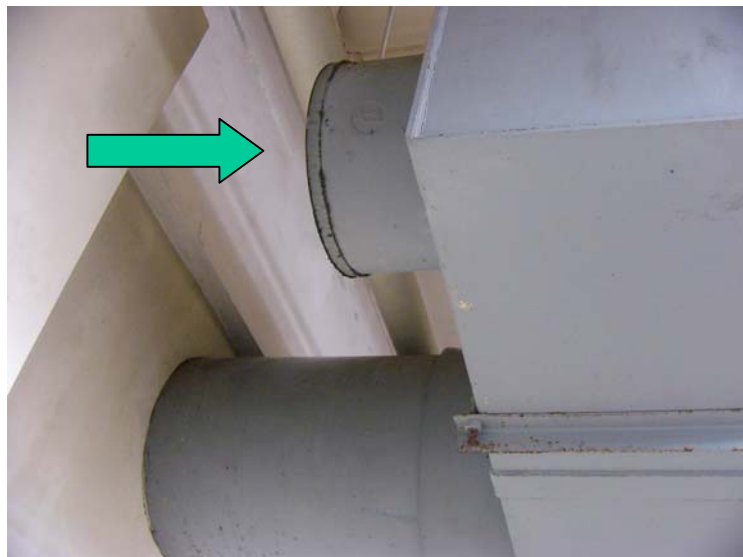
フード上主ダクトの点検孔に腐食が見られた



給気ファンのケーシングに腐食が見られた



フード上の使われていない枝ダクトが開放されていた(大きい圧力損失を生む)



排風機用配電盤の副ブレーカーが落ちておりモーターが回っていなかった(ボタンを押して復帰しなければ施設部に修理を依頼すべき)

このブレーカーが落ちると真ん中のモニターランプが点灯する



ブレーカーが落ちた状態

点検の結果、フード上主ダクトの静圧がゼロであった  
排風機(下左の写真)は回っていた  
検査を依頼した結果、ダンパー(下右の写真)が閉鎖されていた  
(何らかの工事の影響が考えられる)





# 排風機用モーターのファンベルトが損傷していた

